

**株式会社4°Cホールディングス**  
**(東証一部 8008)**

**第67期(2017年2月期)第2四半期決算説明会**

2016年10月11日

**4°C** holdings group

# Contents

## I. 2017年2月期第2四半期決算概要と総括

## II. 2017年2月期通期業績予想、下期重点取り組み課題と施策

## III. 第4次中期経営計画の進捗

(株)4°Cホールディングス 代表取締役社長 鈴木秀典

※資料内の数値は百万円未満を切り捨て表示し、百分率は原データから算出しております。

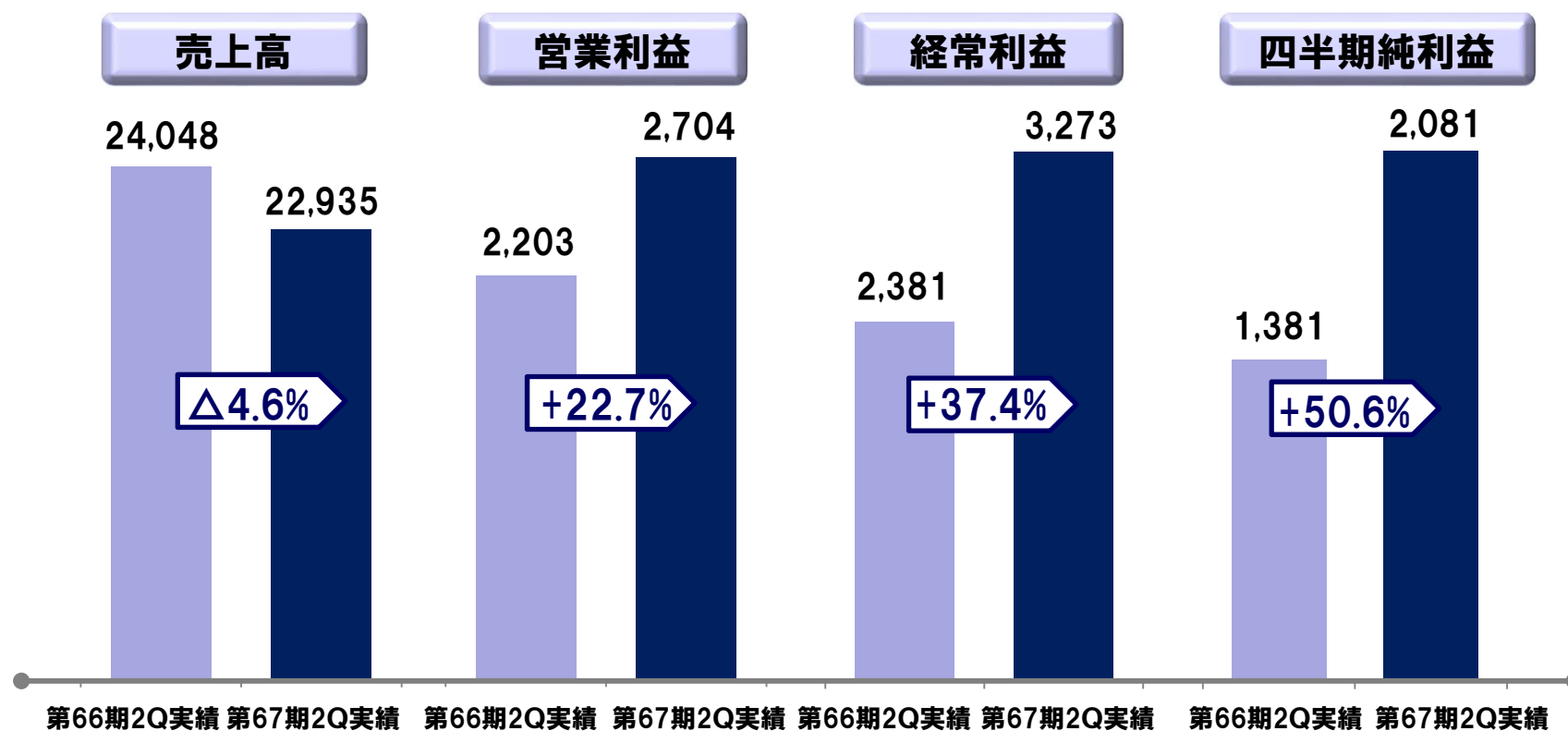
当資料の業績予想に関する記述、及び客観的事実以外の記述に関しましては、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、当社の事業をとりまく経済情勢、市場の動向、為替レートなどに関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご了承ください。

# 連結業績の概要①

売上高は減収となるも、利益面では計画以上に推移し過去最高益を更新

売上高	229.3億円(前年同期比4.6%減)	営業利益	27.0億円(同22.7%増)
経常利益	32.7億円(同37.4%増)	四半期純利益	20.8億円(同50.6%増)

(単位:百万円)

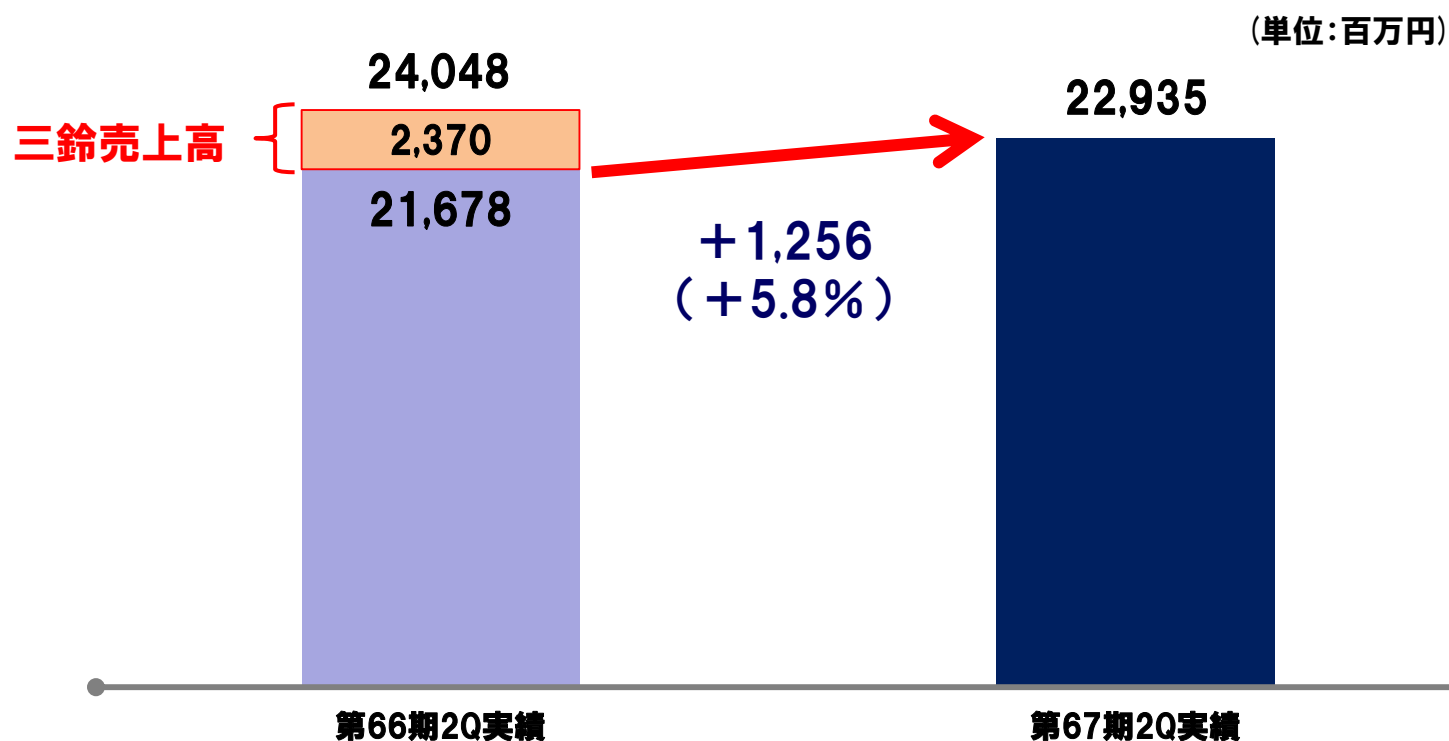


# (株)三鈴売却の影響を除く売上高の推移

2016年4月に(株)三鈴を売却

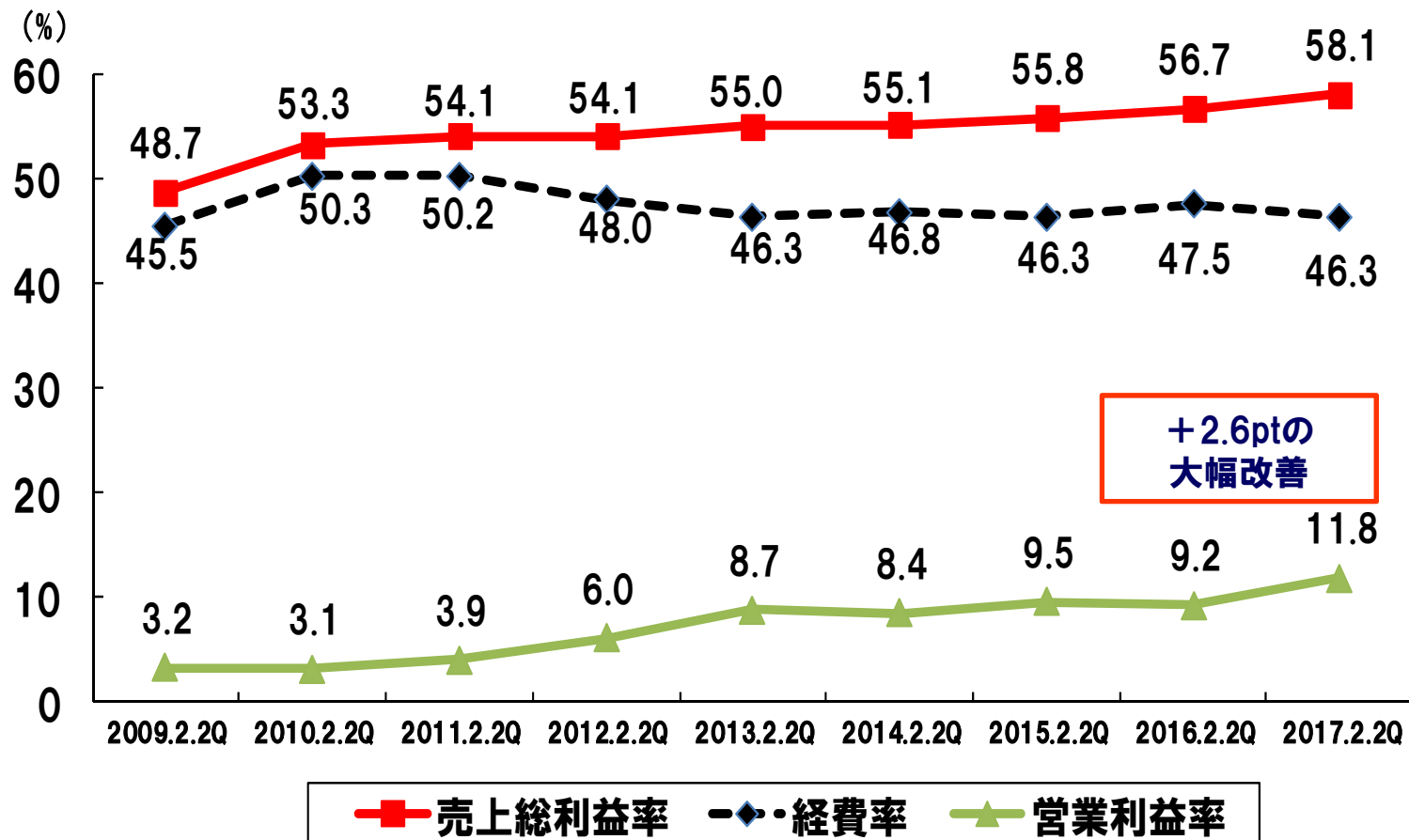
(株)三鈴を除いた売上高は増収(前年同期比5.8%増)

## (株)三鈴売却の影響を除いた売上高比較



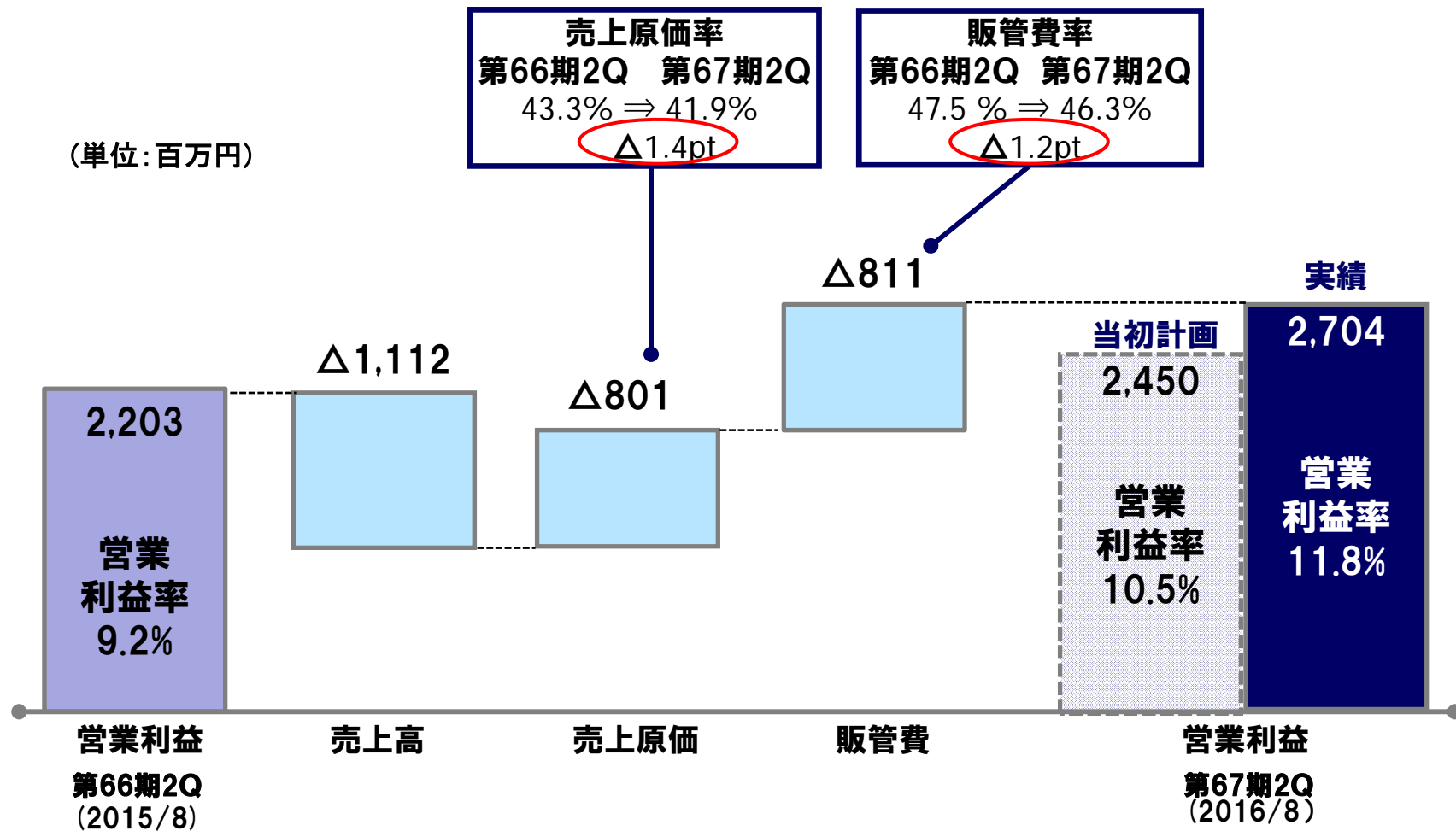
# 利益率の改善

収益構造が一層改善、損益分岐点が低下



# 営業利益の状況

営業利益 27億円(前年同期比22.7%増) 営業利益率11.8%(同2.6pt増)



## 連結業績の概要②

	第66期2Q (2015/8)		第67期2Q (2016/8)		第67期2Q (2016/8)		前年同期比	計画比
	(百万円、%)	実績 (%)	計画 (%)	実績 (%)	実績 (%)	増減(%)	増減(%)	
売上高	24,048	100.0	23,300	100.0	22,935	100.0	△4.6	△1.6
売上総利益	13,633	56.7	13,439	56.9	13,322	58.1	△2.3	△0.9
売上総利益率	56.7		56.9		58.1		+1.4pt	+1.2pt
販売管理費	11,430	47.5	10,989	47.1	10,618	46.3	△7.1	△3.4
営業利益	2,203	9.2	2,450	10.5	2,704	11.8	+22.7	+10.4
経常利益	2,381	9.9	3,000	12.9	3,273	14.3	+37.4	+9.1
四半期純利益	1,381	5.7	2,000	8.6	2,081	9.0	+50.6	+4.1

# 営業利益・経常利益・四半期純利益の推移

(単位:百万円、%)

段階利益	第66期 1Q期間	第66期 2Q期間	第66期 上期累計 (2015/8)	第67期 1Q期間	第67期 2Q期間	第67期 上期累計 (2016/8)	前年差	前年比
売上高	12,306	11,742	24,048	11,588	11,347	22,935	△1,113	△4.6
売上総利益	7,083	6,549	13,633	6,831	6,491	13,322	△311	△2.3
営業利益	1,348	855	2,203	1,547	1,157	2,704	+501	+10.4
営業外収益	340	△129	212	325	277	602	+390	+284.1
営業外費用	5	28	33	12	20	33	△0	△2.1
経常利益	1,683	697	2,381	1,860	1,412	3,273	+892	+37.4
特別利益	—	—	—	—	—	—	—	—
特別損失	13	152	165	503	102	605	+440	+365.7
税金等調整前四半期純利益	1,670	545	2,216	1,357	1,310	2,667	+45	+120.4
四半期純利益	1,212	169	1,381	1,217	864	2,081	+699	+50.6

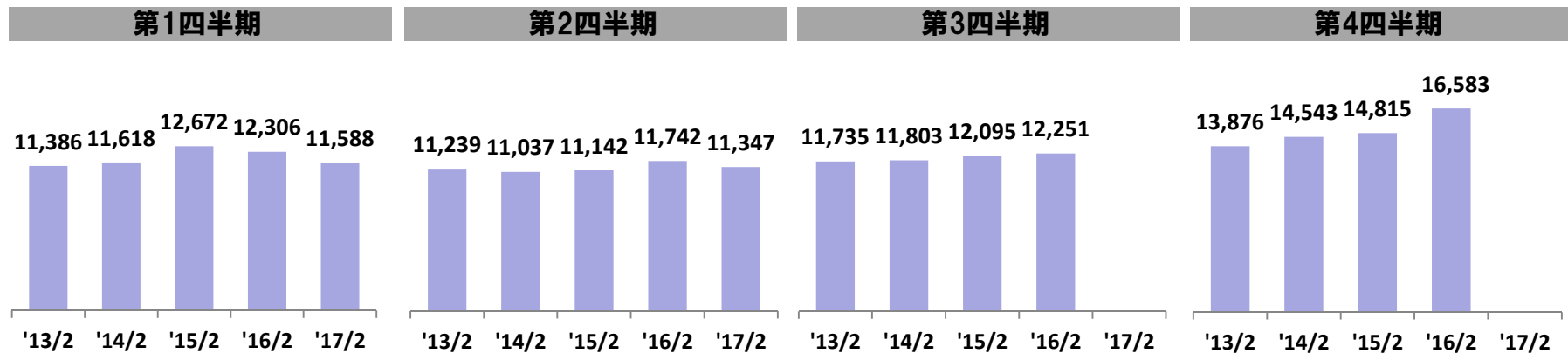


# 四半期業績の推移

## 売上高、営業利益ともに順調に成長

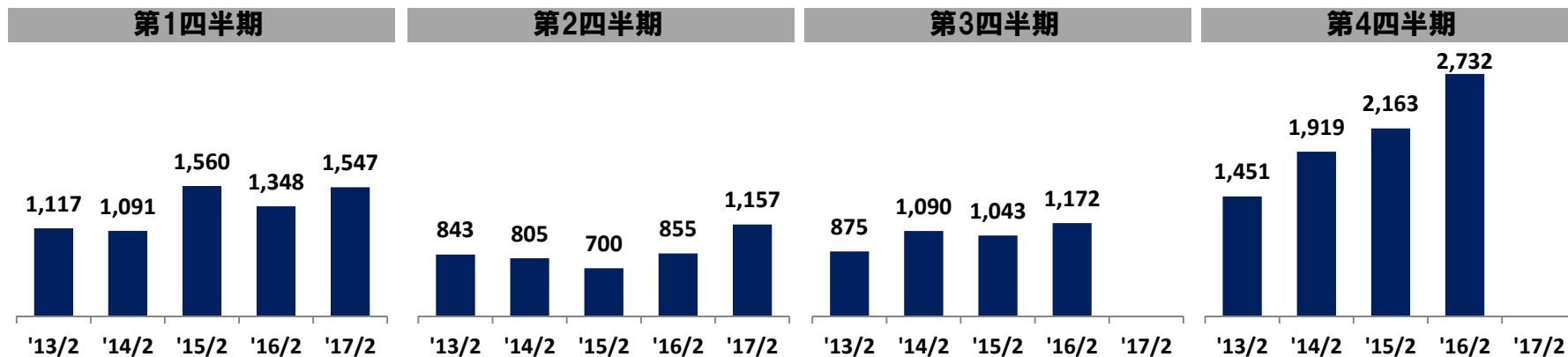
### 売上高

(単位:百万円)



### 営業利益

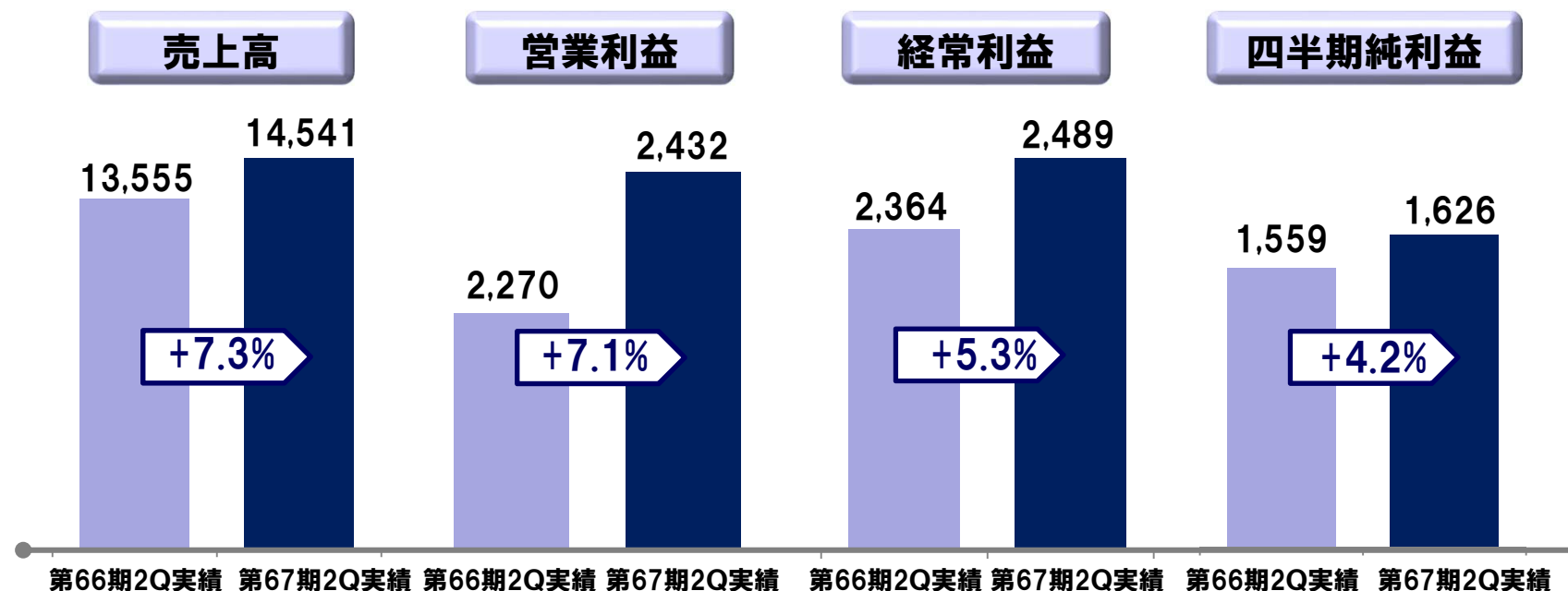
(単位:百万円)



- **売上・利益ともに順調に推移し、増収・過去最高益更新**
- **新店の好調とEC事業の大幅成長で増収**
- **プラチナ価格は想定を下回る推移、売上総利益率が改善**
- **主力の「4°C」ジュエリーは堅調に推移**
- **「canal 4°C」は新規商品の投入と売場の活性化により客数が伸長し好調継続**
- **「Luria 4°C」は好調に推移、出店もあり売上高拡大に寄与**
- **「MAISON JEWELL」はブライダルジュエリーの好調もあり大幅に伸長**

# セグメント別業績の概要～ジュエリー事業

(単位:百万円)



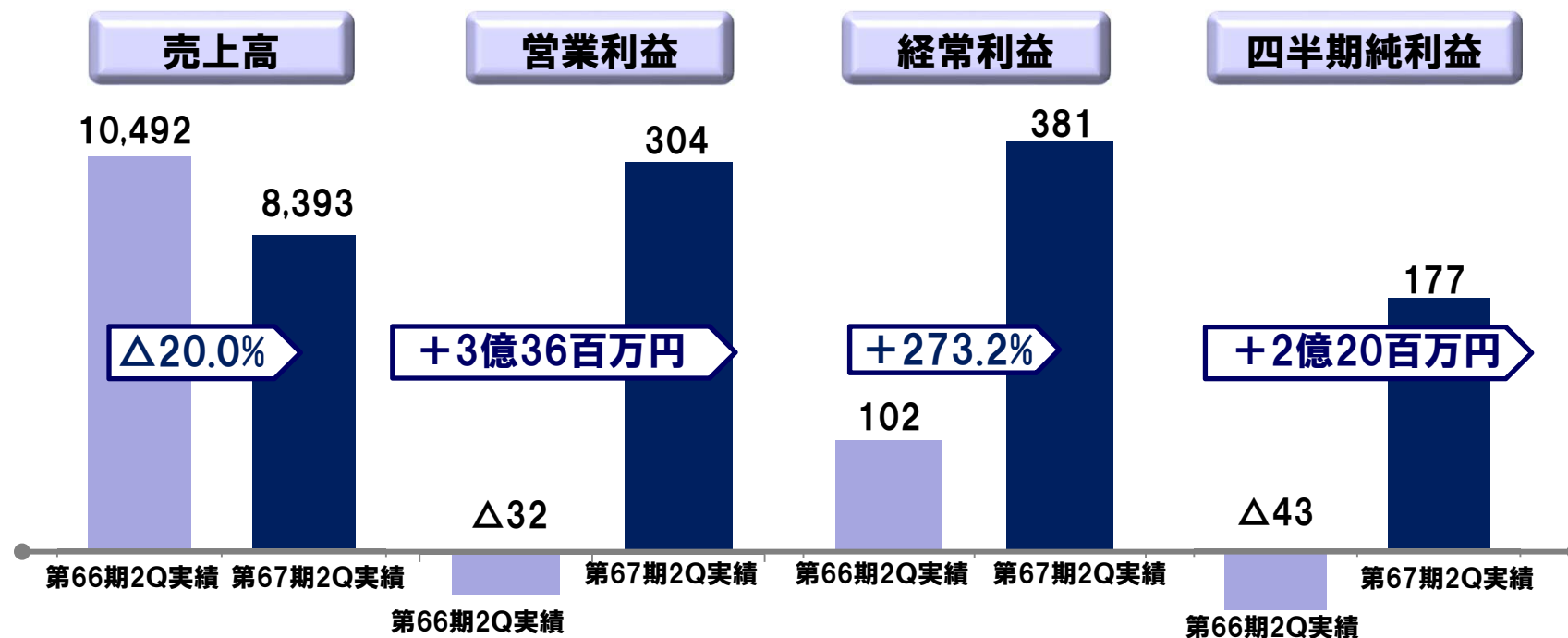
(百万円、%)	第66期2Q (2015/8)		第67期2Q (2016/8)				前年同期比 増減(%)	計画比 増減(%)
	実績	(%)	計画	(%)	実績	(%)		
売上高	13,555	100.0	14,768	100.0	14,541	100.0	+7.3	△1.5
営業利益	2,270	16.7	2,356	16.0	2,432	16.7	+7.1	+3.2
経常利益	2,364	17.4	2,419	16.4	2,489	17.1	+5.3	+2.9
四半期純利益	1,559	11.5	1,569	10.6	1,626	11.2	+4.2	+3.6

(※当期より内部相殺後の数値にて公表しております)

- **実質の増収増益(株)三鈴売却の影響を除く)**
- **事業の立て直しが奏功し営業利益は大幅改善**
- **アパレルメーカー事業は円高により外部環境が改善、商品提案力と海外生産拠点を活かした主力得意先との取り組み強化が奏功**
- **デリーファッション事業「パレット」は在庫コントロールによる値下げ販売の抑制が奏功し利益率が大幅改善**

# セグメント別業績の概要～アパレル事業

(単位:百万円)



(百万円、%)	第66期2Q (2015/8)		第67期2Q (2016/8)				前年同期比・差 増減(%)	計画比・差 増減(%)
	実績	(%)	計画	(%)	実績	(%)		
売上高	10,492	100.0	8,528	100.0	8,393	100.0	△20.0	△1.6
営業利益(損失)	△32	—	176	2.1	304	3.6	+336百万円	+72.4
経常利益	102	1.0	290	3.4	381	4.5	+273.2	+31.4
四半期純利益 (損失)	△43	—	197	2.3	177	2.1	+220百万円	△10.4

(※当期より内部相殺後の数値にて公表しております)

# 財政状態、キャッシュ・フローの状況(連結)

- 総資産596億円、負債136億円、純資産459億円
- 財務CFは株主還元にて自己株式取得8億6千万円、配当5億3千万円

## 財務状況

2016年8月末時点

<b>総資産 596億円</b>	136億円	負債
	459億円	純資産

## キャッシュ・フロー

(単位:百万円)	第66期2Q (2015/8)	第67期2Q (2016/8)	差額
営業CF	408	738	+330
投資CF	△739	△1,404	△664
財務CF	△2,775	△1,519	+1,255
フリーCF	△331	△665	+333

# 出退店の状況と計画

## □ ジュエリー事業は計画を上回る出店数

期首計画16店舗出店：上期実績14店舗、下期海外含め7店舗予定(計画比+5店舗)

## □ アパレル事業はパレット2店舗を出店、下期は代行店を含め2店舗出店予定

		ジュエリー事業					アパレル事業		合計※	
		国内					海外	(株)アージュ ※		(株)三鈴
		路面店 ブティック	百貨店	ブライダル ショップ	ファッション ビル	計				
第66期 (2016/2)	期末	6	88	39	75	208	6	76	67	340
第67期 上期実績 (2016/8)	出店	0	6	0	8	14	0	2	—	16
	退店	1	3	0	1	5	1	0	—	6
	2Q 期末	5	91	39	82	217	5	78	—	283
第67期 下期計画 (2017/2)	出店	0	0	0	5	5	2	2	—	8
	退店	0	3	0	0	3	0	0	—	3
	期末	5	88	39	87	219	7	80	—	288

(※アージュにてジュエリーの販売代行店舗あり。第66期末△17店舗を調整、第67期下期1店舗出店により第67期末△18店舗を調整) 15

# ジュエリー事業における国内取扱いブランド店舗数の状況と計画

- ジュエリー取扱い店舗、ブランドミックスの推進により増加
- バッグ取扱い店舗、Luria4°Cの出店拡大により増加

		4°C	4°C BRIDAL	canal 4°C	その他※	ジュエリー計	4°Cバッグ	Luria 4°C	バッグ計
第66期 (2016/2)	期末	93	48	45	25	211	49	19	68
第67期 上期 実績 (2016/8)	出店	4	1	2	14	21	6	8	14
	退店	4	0	0	1	5	3	0	3
	2Q 期末	93	49	47	38	227	52	27	79
第67期 下期 計画 (2017/2)	出店	0	0	1	5	6	0	5	5
	退店	1	0	0	2	3	1	1	2
	期末	92	49	48	41	230	51	31	82

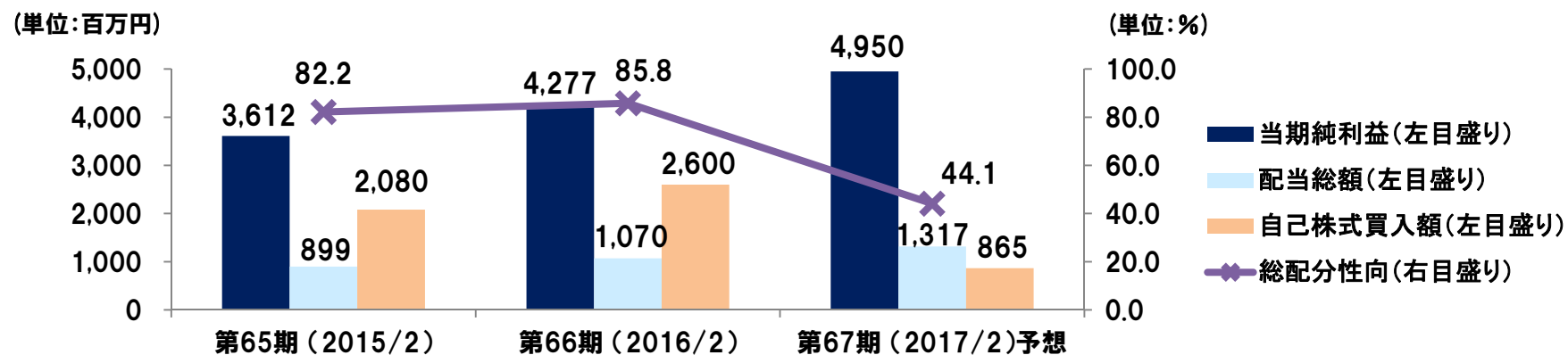
※1.その他: EAU DOUCE4°C、RUGIADA、MAISON JEWELL、deux et deux

※2.同一店舗にて複数のブランドを扱う複合店は各ブランドごとに1店舗として計上



## □ 安定的・継続的な配当を基本とし、機動的な自己株式の取得も視野に

- ⇒ 配当性向を中期的・段階的に30%へ引き上げる方針
- ⇒ 2017年2月期中間配当は前年同期に比べ5円増配の25円
- ⇒ 2017年2月期は年間50円と10円増配予定
- ⇒ 2016年8月に40万株の自己株式の取得を実施



	第65期 (2015/2)	第66期 (2016/2)	第67期 (2017/2) 予想
1株当たり年間配当金(円)	32.0	40.0	50.0
1株当たり当期純利益(円)	133.90	163.22	191.56
配当性向(%)	23.9	24.5	26.1
自己株式買入額(百万円)	2,080	2,600	865
総配分性向(%)	82.2	85.8	44.1

- I. 2017年2月期第2四半期決算概要と総括
- II. 2017年2月期通期業績予想、下期重点取り組み課題と施策**
- III. 第4次中期経営計画の進捗

# 2017年2月期連結業績予想①

減収増益、営業利益、経常利益、当期純利益とも過去最高益更新の計画

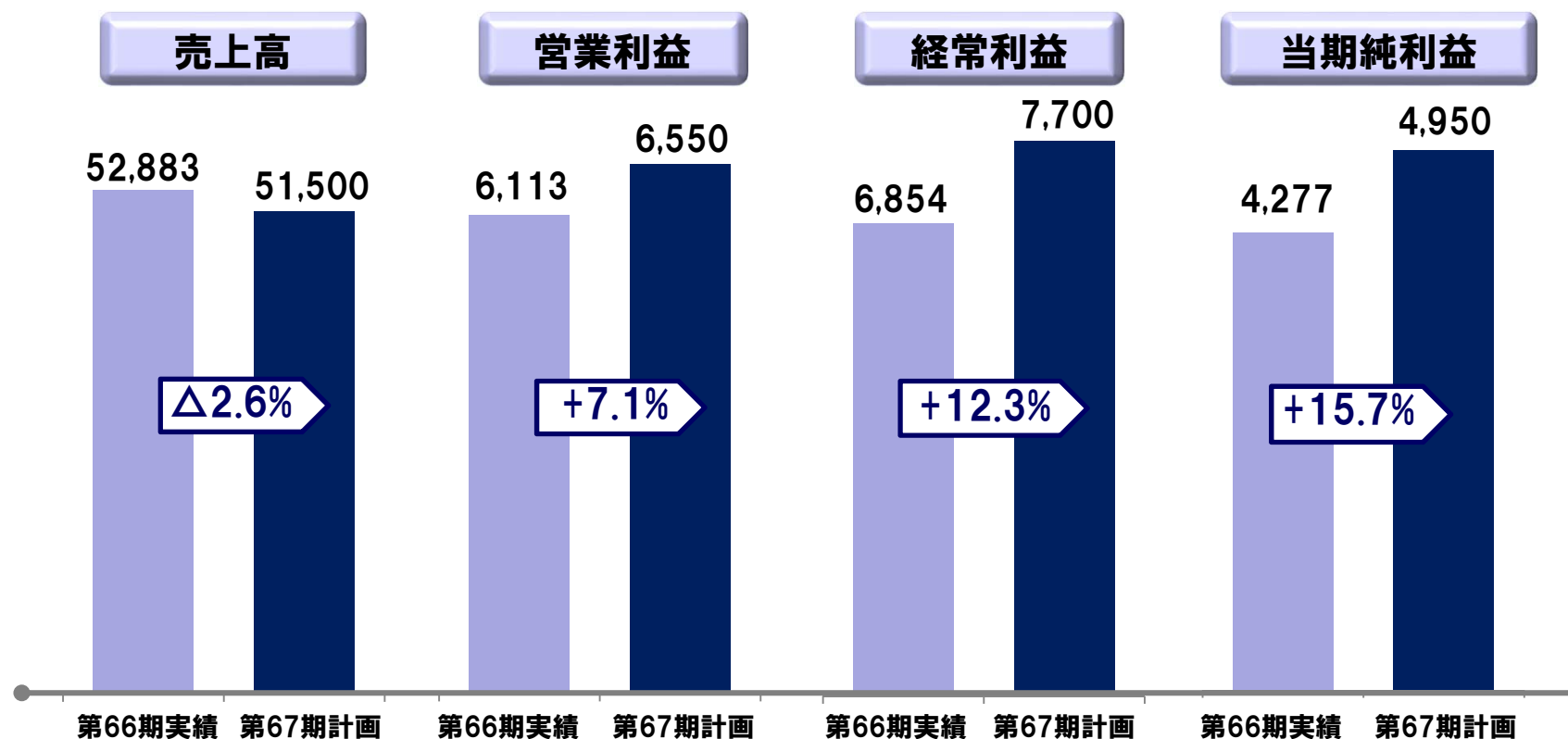
売上高 515.0億円(前期比2.6%減)

営業利益 65.5億円(同7.1%増)

経常利益 77.0億円(同12.3%増)

当期純利益 49.5億円(同15.7%増)

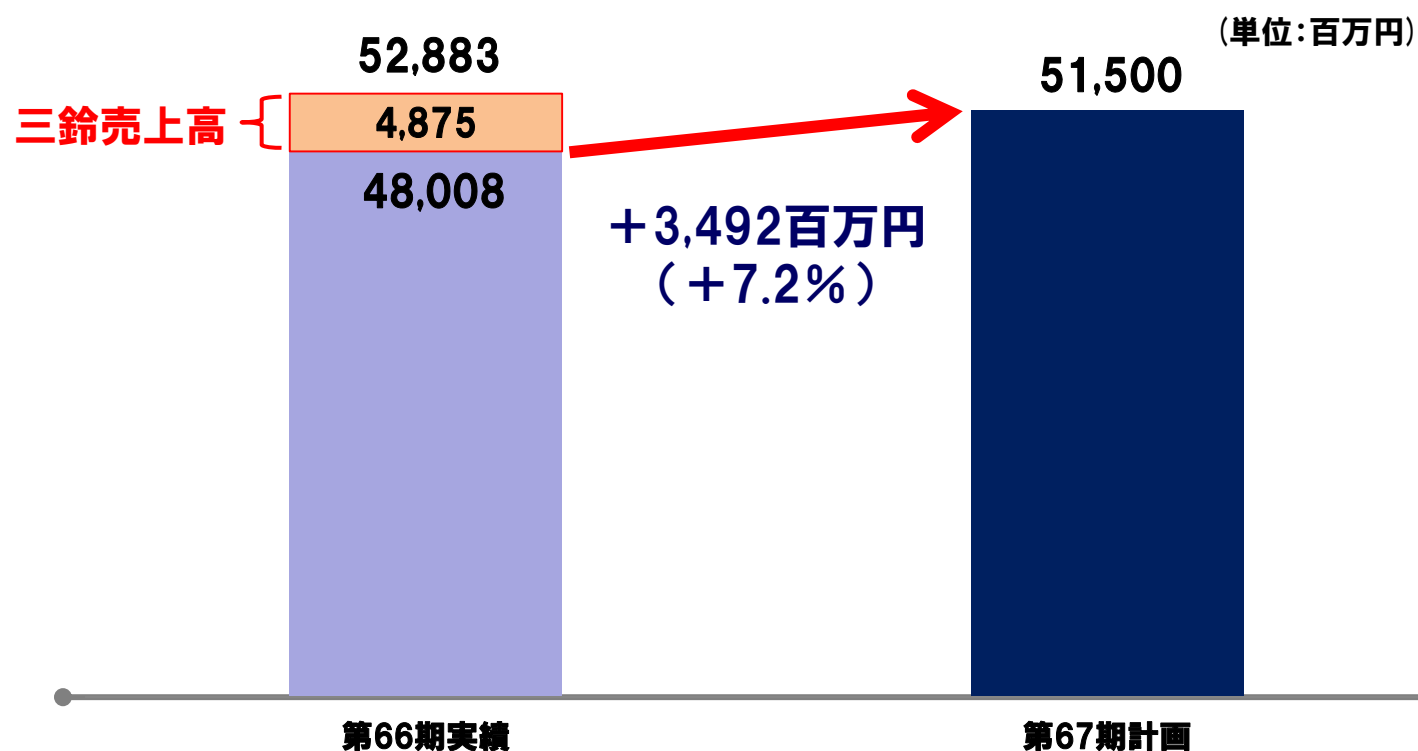
(単位:百万円)



# (株)三鈴売却の影響を除く売上高の見通し

通期業績も(株)三鈴を除いた売上高は前期比7.2%増と増収の見通し

## (株)三鈴売却の影響を除いた売上高比較



## 2017年2月期連結業績予想②

減収増益、営業利益および当期純利益は5期連続、経常利益は6期連続で過去最高益を更新する見通し

(百万円、%)	第66期(2016/2)		第67期(2017/2)		前期比
	実績	(%)	計画	(%)	増減(%)
売上高	52,883	100.0	51,500	100.0	△2.6
売上総利益	30,831	58.3	30,107	58.5	△2.4
売上総利益率	58.3		58.5		+0.2Pt
販売管理費	24,717	46.7	23,557	45.7	△4.7
営業利益	6,113	11.5	6,550	12.7	+7.1
経常利益	6,854	13.0	7,700	14.7	+12.3
当期純利益	4,277	8.1	4,950	9.6	+15.7

# セグメント別通期業績予想(内部相殺後数値)

- ジュエリー事業は引き続き増収増益の見通し
- アパレル事業は従来の方針を継続

(百万円、%)		第66期 (2016/2)	第67期(2017/2)		
		実績	上期実績	通期予想	前期比
ジュエリー事業	売上高	31,880	13,555	34,076	+6.9
	営業利益	5,831	2,270	6,129	+5.1
	経常利益	5,970	2,364	6,248	+4.7
	当期純利益	3,836	1,559	3,930	+2.5
アパレル事業	売上高	21,003	8,393	17,294	△17.7
	営業利益	188	304	459	+143.5
	経常利益	472	381	679	+43.8
	当期純利益	225	177	435	+93.1

## □ 上期の主な成果

- ①「Luria 4°C」をはじめとした出店拡大  
新規出店14店舗
- ②改装店舗の売上拡大  
前期改装14店舗累計売上高:前年同期比13.7%増  
今期改装 6店舗累計売上高:前年同期比11.0%増
- ③「MAISON JEWELL」の成長
- ④ジュエリー事業:売上高前年同期比7.3%増、営業利益7.1%増
- ⑤アパレル事業:売上高(三鈴除く)前年同期比1.5%増、  
営業利益は約3億円的大幅改善

## □ 下期の主な取り組み

- ①計画に則った新規出店、改装の継続
- ②「4°C BRIDAL」の商品施策、販促施策の強化
- ③消費の二極化への対応
- ④最大需要期であるクリスマス商戦の対策
- ⑤EC事業の更なる拡大
- ⑥「MAISON JEWELL」の育成による郊外型SCチャネルの開拓
- ⑦アパレル事業、従来の方針を継続

- ファッションビルを中心に下期5店舗出店予定
- ブランドミックスの推進継続  
複合店・隣接店の展開により店舗での幅広いアイテム展開を実現



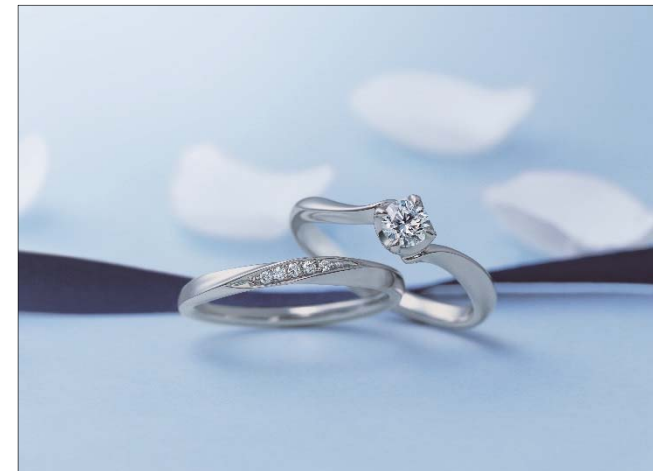
(「Luria4°C宇都宮東武店」)



(「4°C仙台パルコ2店(※複合店)」)



- ピュアプラチナなど高グレード商材の充実により商品訴求力向上
- オーダー以外の店頭在庫の充実により、機会ロス低減
- 販促施策による来店客数の増加



- 高額素材の導入価格帯商品の充実やエターナルシルバーの新商品の投入等  
消費の二極化に対応したアイテムの拡充



(4°Cジュエリー プラチナネックレス)



(4°Cエターナルシルバー)

- クリスマス商戦に向けたテレビCMの強化
- 全国紙への広告による4°Cブランドの男性認知度の向上



(2016年 X' mas広告イメージ)



(4°C X' mas限定商品)

# 下期重点施策～ジュエリー事業：EC事業の更なる拡大

4°C  
holdings group

- 上期は前年同期比47.0%増と大幅な成長を続けるEC事業
- 8月1日にはブライダルリング専門のECサイトを新たにオープン



(4°Cブライダル公式オンラインショップ「4°C BRIDAL」)

## 下期重点施策～ジュエリー事業：「MAISON JEWELL」の育成

4°C  
holdings group

- 「MAISON JEWELL」はブライダルジュエリーの好調もあり前年同期比38.6%増と大幅に伸長
- 下期にはイオンモール広島府中に出店を予定、郊外型SCチャネルの更なる開拓に期待



(「MAISON JEWELL」越谷店)



(「MAISON JEWELL」ブライダルリング)

### ◆ アパレルメーカー事業：ODM・OEMの顧客ニーズへの対応力で優位性を強化

- 得意先の要望にきめ細かく対応するため素材の調達や海外生産拠点を充実、商品提案力を強化
- 海外生産本数の約50%をバングラデシュにシフト

### ◆ デイリーファッション事業：「パレット」による関西ドミナント出店を継続

- 下期は1店舗出店予定、シェアと認知度の向上に取り組む
- ポイントカードによる優良顧客の獲得・拡大
- 婦人商材および実用・寝具の品揃えの充実

- I. 2017年2月期第2四半期決算概要と総括
- II. 2017年2月期通期業績予想、下期重点取り組み課題と施策
- III. 第4次中期経営計画の進捗**

## 第4次中期経営計画基本方針～数値ビジョン

(株)三鈴の売却を受け、数値ビジョンの2018年2月期連結売上高を修正

	当初数値ビジョン	修正後 数値ビジョン
連結売上高	600億円以上	550億円以上
経常利益	80億円以上	80億円以上
ROE	10%以上	10%以上



# 第4次中期経営計画の進捗状況

## 重点施策を着実に実施

### 重点施策

積極的な出店戦略、3ヵ年で70店舗



### 2年目上期の進捗

2016年8月末で49店舗の新規出店

次の成長戦略を担う事業の開発・育成



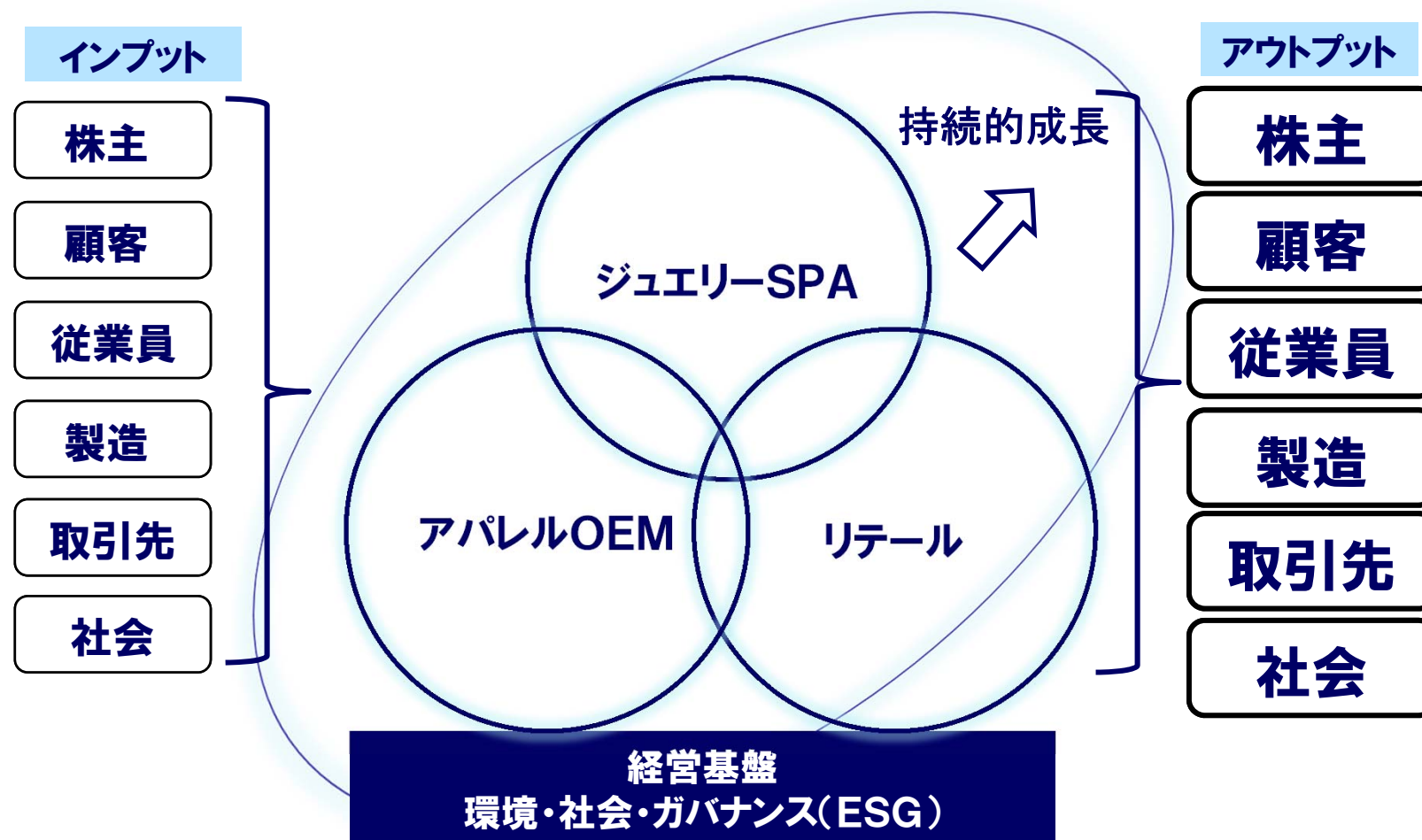
- ・「Luria 4°C」は2016年8月末で27店舗展開
- ・「MAISON JEWELL」は前年同期比38.6%増と大幅に伸長
- ・ブライダルリング専門のECサイトをリリース
- ・中国での出店拡大に向け、上海現地法人を活用したノウハウ収集を継続

「成長エンジン5本柱」の継続による事業規模の拡大



- ・「4°C」ジュエリーは堅調に推移
- ・「canal 4°C」の好調継続
- ・アパレルメーカー事業の立て直し奏功
- ・デイリーファッション事業「パレット」の利益拡大

ジュエリーSPA、アパレルOEM、リテールの3つの事業で価値拡大を目指す



- コーポレートユニバーシティ「まっとうな経営塾」による人材育成
- ダイバーシティ推進委員会による女性の活躍推進への取り組み実施
- 品質管理体制の充実



- **2017年2月期第2四半期は減収増益、各段階利益は過去最高益を更新、実質増収増益**
- **2017年2月期通期見通しは減収増益、営業利益・当期純利益は5期連続、経常利益は6期連続で過去最高を更新予定**
- **安定的・継続的な配当と機動的な自己株式取得による株主還元の実施、好調な業績を背景に6期連続増配を予定、8月には自己株式40万株を取得**
- **下期最大のポイントであるクリスマス商戦に向けた商品施策や販促施策に取り組むとともに、「4°C BRIDAL」対策、EC事業拡大、「MAISON JEWELL」の育成にも注力**
- **第4次中期経営計画の進捗状況は極めて順調に推移。着実な施策の実行による事業の成長で数値ビジョン達成を目指す。**

# 本日は誠にありがとうございました

本資料ならびにIRに関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社4°Cホールディングス

経営企画部 小塚

TEL 03-5719-3429

FAX 03-5719-3289

E-mail [ir-yondoshi@yondoshi.co.jp](mailto:ir-yondoshi@yondoshi.co.jp)

※将来に亘る部分につきましては、予想に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。

予想と異なる結果となる可能性があることをご認識の上ご活用下さい。